

令和5年度用 高等学校用教科書

書道

編集の趣意と特色

書道 I	17 教出	書 I	704
書道 II	17 教出	書 II	703

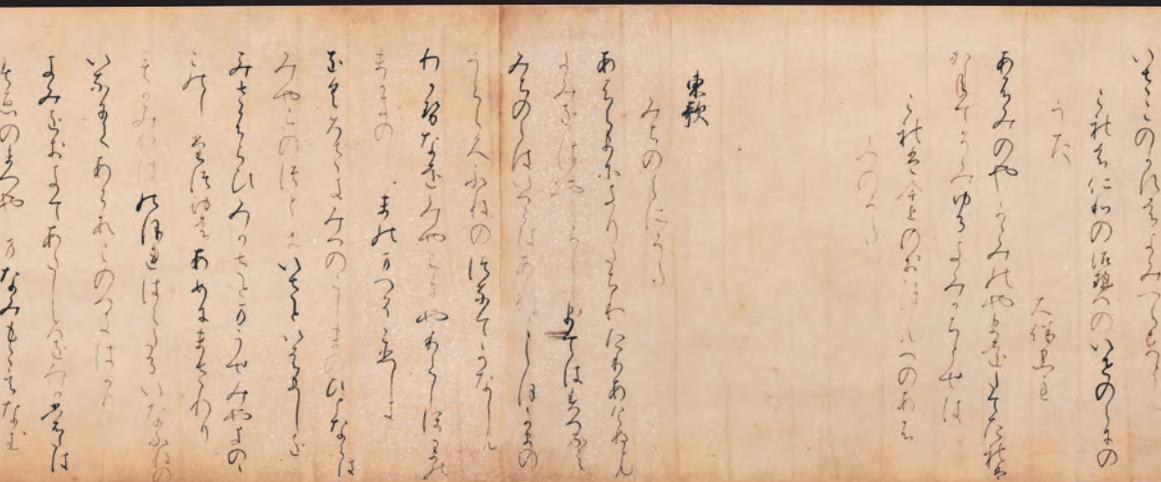
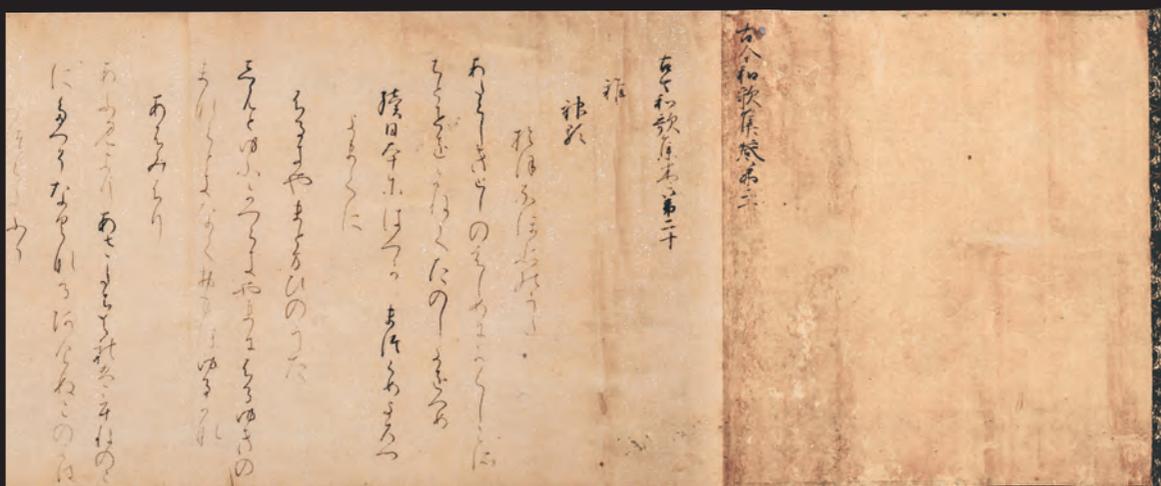
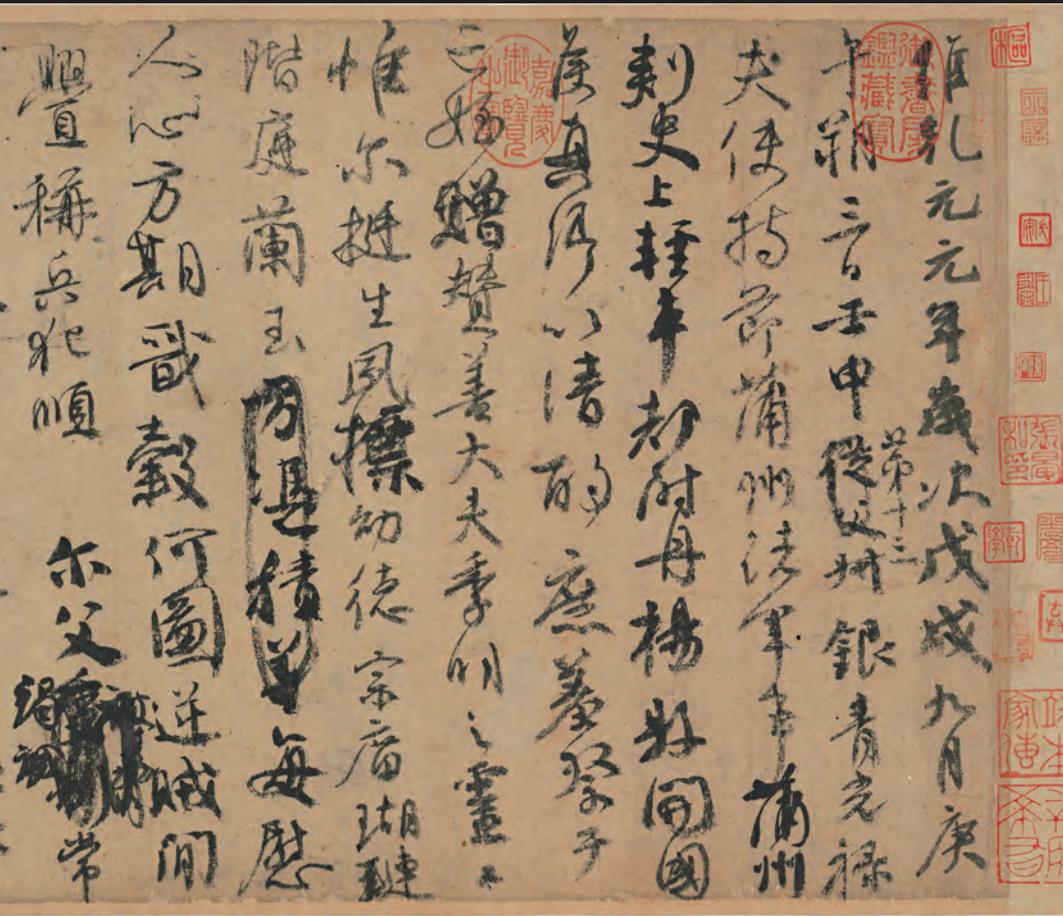


教育出版

書之美を

求めて

数千年の歴史と、筆者の思いや感興を背景に育まれてきた書之美とは何か、探つていこう。



「クイズ形式」の導入教材

導入として古典の比較をクイズ形式で考えることで、直感的に書風の違いを感じとり、楽しみながら鑑賞の観点を発見できます。

一 楷書の学習

1 さまざまな楷書

このページの構成は、楷書の学習を促すために設計されています。上部には「之」の異なる書風（A, B, C, D, E, F）が並び、その下に「道」の書風（A, B, C, D, E, F）が並び、さらに「道」の筆順図が示されています。右側には「古典」として、顔真卿の「祭姪稿」の「之」の書法について詳しく説明されています。下部には「練習」の欄があり、鳥の絵を模写する際の注意点が述べられています。

『書道 I』 12~13ページ

豊富な鑑賞、臨書教材

幅広い授業に対応できるように鑑賞・臨書教材の充実を図りました。新設の「鑑賞ガイド」は、生徒の興味・関心をふくらませ、分析的な鑑賞力を養う構成になっています。

祭姪稿

従兄の子への痛恨の思いと、激情が発露する。

書き出し数行は冷静に運筆するが、やがて感情があらわれ出す。強弱、潤渇、大小、遅速が交じり、振幅の大きい表現世界が繰り広げられている。

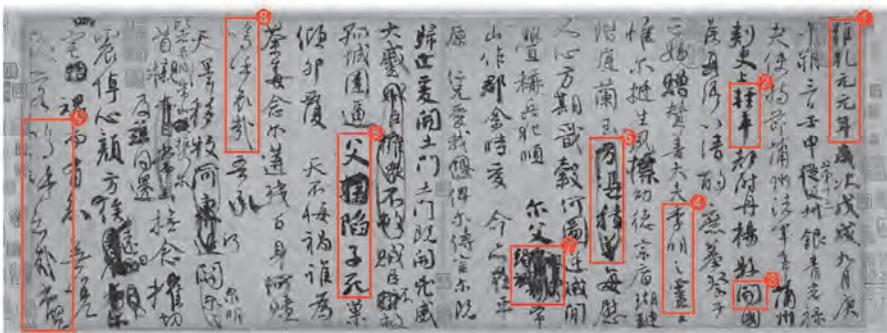


書き出しは冷静に淡々と書かれ、文字は連続しない。最終面の筆画は筆圧方向に強く筆圧を加える。

維乾元元年



筆圧を極限までかけて、筆を激しく開閉する。ねじこみ、こすりつけのように書かれている。



『書道 I』 49ページ

別冊「書之美を探る」

巻末にあります。
取り外してご使用ください。



折りたたみ、
半紙の真横に置いて
使用できます。





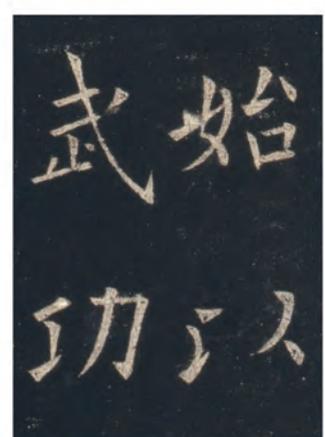
学習のポイントを参考に、特徴や籠字を書き込んでみよう

学習のポイント

- ・筆順
- ・用筆・運筆(起筆の形や角度など)
- ・字形(背勢・向勢、外形、点画の形・長短・方向・太細、画と画との間など)
- ・配置(中心のとり方、文字の大小、余白など)



始以武功 (部分)



九成宮醴泉銘の特徴を理解し、表現できたか。
◎よくできた ○できた △もう少し ×できなかった

『書道Ⅰ』 別冊 2~3ページ

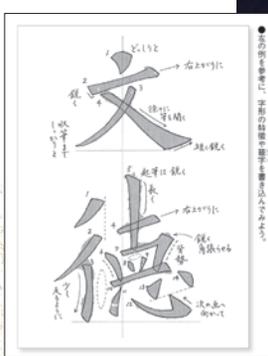
書道Ⅱ

書文化の多彩さにふれるコラム

書の文化的背景や文学、美術・工芸との関わりなど、書文化の豊かさを感じられるコラムを充実させました。



もうせん
毛氈の上でも書き込める
古典図版。



学習のポイントを参考に古典の特徴を直接書き込むことで、鑑賞と臨書の学習を深めることができます。

『書道Ⅰ』 別冊 表紙 書き込み例

青銅器の世界

- ・ 文字を習う
- ・ 〈鑑賞〉 中国近代の篆書、隸書
- ・ あの人が残した書
- ・ 北朝の書の魅力
- ・ 落款を考える
- ・ 書と美術・工芸との関わり
- ・ 古筆に見る小倉百人一首

青銅器の世界

青銅器は、中国では少なくとも二里頭文化期（紀元前二〇〇〇年頃）には製造されており、戦国時代（紀元前五、前三世紀）以降に鉄が普及するまで、祭器や武器として盛んに用いられた。当時は権力の象徴として重視され、¹鼎の軽重を問う（春秋左氏伝）という言葉も生まれました。

用途に応じたさまざまな形状があり、例えば、供え物をしたり煮炊きしたりするための食器では、二本の足を持つ鼎や、大きな取っ手をもつ罍などが造られました。また、酒を入れる酒器では、持ち手のついた卣（4ページ）や、口が上部に広がる尊（8ページ）などがあります。表面には饕餮文など神・鳥獣をモチーフとした文様や、銘文が刻み込まれています。

青銅器は、時間がたつと錆（緑青）により緑色に覆われますが、原料は銅と錫の合金であり、もとは金色に輝いていました。細密な文様を鋳込む場合は、錫を増やし、高温で溶かした原料（湯）の粘度を低くするなどの工夫がなされていたようです。

銘文は、青銅器の器内や蓋の裏に施されます。最初は部族などを示す記号が見られる程度でしたが、殷末期（紀元前十一世紀頃）には、ある程度の長さの文章も鋳込まれるようになりまし。改変を防ぐ目的から、凹線で鋳込まれることがほとんどで、それを加えて字の配置を整えるマスキが白線で施されることもありまし。



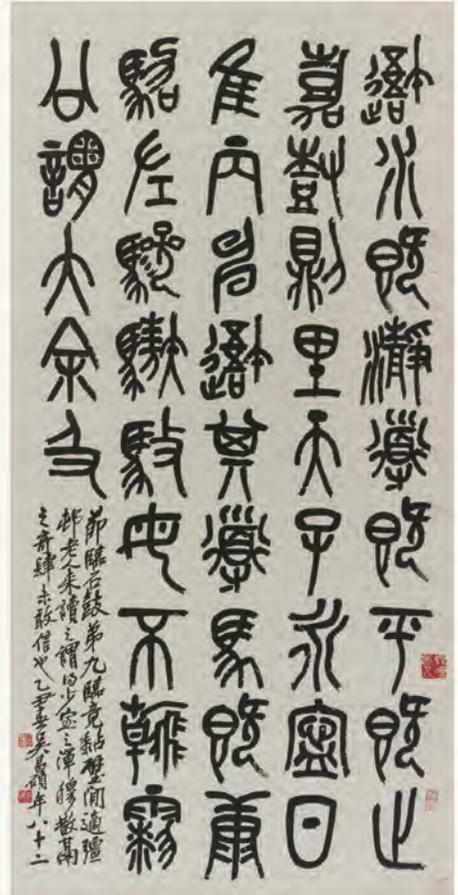
蓋の裏の銘文



象尊 泉 泉屋博古館蔵

『書道Ⅱ』 10ページ

中国近代の篆書、隸書



吳昌碩 (1844~1927)

東京国立博物館蔵 (140.4×69.4cm)

『書道Ⅱ』 28~29ページ

古筆に見る小倉百人一首



小倉色紙 鎌倉時代 藤原定家筆
五言美術歌 縮小
あひまのちのころくらふれば
むかしはものもおもはざりけり
（小倉百人一首 四十三番 藤原歌志）



本阿弥切古今集 平安時代 伝小野道風筆
京都国立博物館蔵 縮小
すみのおのきしよるなみ夜さへや
ゆめのかよひちのめよく寛
（小倉百人一首 十八番 藤原歌行）

『書道Ⅱ』 76~77ページ

教師用指導書

書道Ⅰ 教授資料 定価 13,200円(本体 12,000円+税)

- 1 書道Ⅰ 学習指導の研究 B5判
单元ごとに学習展開例を詳しく示し、留意点と評価の観点を例示しました。
- 2 書道Ⅰ ワークプリント集①② 各B4判
学習記録、各古典の拡大手本、集字資料、補充資料他。
- 3 書道Ⅰ 付属DVD-ROM
教授用動画、ワークプリント集のデータ、教科書本文データ、年間学習指導計画例、単元例、シラバス(例)他。

書道Ⅱ 教授資料(予定)

- 1 書道Ⅱ 学習指導の研究 B5判
单元ごとに学習展開例を詳しく示し、留意点と評価の観点を例示しました。
- 2 書道Ⅱ ワークプリント集①② 各B4判
学習記録、各古典の拡大手本、集字資料、補充資料他。
- 3 書道Ⅱ 付属CD-ROM
ワークプリント集のデータ、教科書本文データ、年間学習指導計画例、単元例、シラバス(例)他。

検討の観点と特色

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名	発行者名
17 教出	書Ⅰ 704	書道Ⅰ	教育出版株式会社
項目	観点	特色等	
①内容の選択・程度	* 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材 * 基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮	○漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書が指導要領の内容にそって展開されている。 ○漢字、仮名の書の古典教材は、基礎・基本的なものを取り上げていて、書道Ⅰにふさわしいものとなっている。	
②組織・配列・分量	* 学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量	○学習の導入では、中学校書写から高等学校芸術科書道への展開が関連して学習できるように配慮されている。 ○漢字の書では、唐の四大家の古典を基本教材として取り上げている。 ○仮名の書では、上代様の蓬萊切、高野切第三種を基本教材として取り上げており書道Ⅰにふさわしいものとなっている。	
③表記・表現および使用上の便宜	* 学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法 * 印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など	○漢字の教材は、羅列的な編成ではなく、教材同士を対比構成にしており、各教材の特徴が理解しやすいものとなっている。 ○学習の観点を示すことにより、生徒自ら考え主体的に学習できるように配慮されている。 ○本文活字は読みやすく、レイアウトにも視覚的な配慮がされている。 ○表紙は、抗菌加工が施され、またコーティングされており墨汁や汚れに強い堅牢なものとなっている。また、製本は、あじろ綴じで堅固である。	
④総合所見	○漢字、仮名の書は基礎・基本的なものを取り扱っており、またその分量も適切であり、書道Ⅰの内容にふさわしいものとなっている。 ○別冊「書的美を探る」は、古典の集字教材がA4判に拡大されており、そして二ツ折にしやすい中綴じのため臨書学習に配慮されたつくりとなっている。		

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名	発行者名
17 教出	書Ⅱ 703	書道Ⅱ	教育出版株式会社
項目	観点	特色等	
①内容の選択・程度	* 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材 * 基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮	○漢字の書では、漢字五書体を取り上げ、歴史的評価の定まった古典を基本教材として取り上げている。 ○仮名の書は、書道Ⅰから学習を発展させる教材を取り上げ、高野切第一種を主教材とした構成となっている。	
②組織・配列・分量	* 学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量	○漢字の書は、篆書・隸書・草書・行書・楷書の順に取り上げられていて、書体の歴史的成立過程の理解につながる特色ある編成になっている。 ○仮名の書は、同じ和歌を寸松庵色紙・関戸本古今集・元永本古今集などで比較して学習できる構成とし、学習の発展につながるよう工夫されている。 ○漢字仮名交じりの書は、漢字や仮名の古典の学習と関連させた作例を多く取り上げて、学習方法もよく配慮されている。 ○篆刻・刻字・書道史（日本・中国）の扱いも図版を多く用いることで生徒が理解しやすいものとなっている。 ○漢字の学習は、古典の図版が見やすく、鮮明な部分を選び、しかも古典ごとに半紙で学習するのに適した集字教材を示すことで、授業で扱いやすい構成となっている。	
③表記・表現および使用上の便宜	* 学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法 * 印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など	○教科書巻末の書道史年表、書道史地図は資料写真を多く用いて、授業で活用しやすいものになっている。 ○全ページカラー化されており、古典教材の再現性が高まり、教材性、鑑賞性が豊かなものとなっている。 ○鮮明な印刷により古典教材の再現性が高まり、教材性、鑑賞性が豊かなものとなっている。 ○表紙は、抗菌加工が施され、またコーティングされており墨汁や汚れに強い堅牢なものとなっている。また、製本は、あじろ綴じで堅固である。	
④総合所見	○漢字の書は五書体を取り扱い、仮名の書は高野切第一種を中心に基本的な教材を取り扱っており教材性、鑑賞性が大変豊かなものとなっている。		

本書の著作者

【監修】

中村 伸夫 筑波大学名誉教授

【著作者】

尾川 明穂 筑波大学准教授

加藤 泰弘 東京学芸大学教授

小林 雅澄 北海道有朋高等学校教諭

蓑毛 个庵 四国大学名誉教授

宮崎 洋一 広島文教大学教授

若松 志保 鹿児島県立鶴丸高等学校教諭

教育出版株式会社編集局

【校閲】

角井 博 筑波大学名誉教授

加藤 東陽 東京学芸大学名誉教授

辻井 京雲 元北海道教育大学名誉教授

長野 竹軒 東京学芸大学名誉教授

森岡 隆 筑波大学名誉教授

【編集協力】

小川 崇 埼玉県立坂戸西高等学校教諭

草津 祐介 都留文科大学特任准教授

深田 邦明 埼玉県立春日部女子高等学校教諭

(五十音順)

弊社Webサイトより「検討の観点と特色」のwordデータをダウンロードいただけます。



平成21年学習指導要領
対応教科書

【書道Ⅲ】
17 教出 書Ⅲ 303

教育出版株式会社

〒135-0063

東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館

TEL:03-5579-6278 / FAX:03-5579-6444